

# さっこら踊り



「さっこら踊り」は、昭和46年に復活し、昭和57年に里村の無形民俗文化財に指定され、今日に至っている。

江戸時代中期以降のものといわれ、農民の踊りとして踊られてきた。

歌は、心中物と雨乞いの2種からなり哀調を帯びているが、踊りは歌と対照的で刃物で切ったような踊りである。

当初は盆踊りとして初盆の家々で踊り、慰霊と供養をして廻っていた。

また、「雨乞い」の行事として、八幡神社前の津溜（ツダマリ）や嶺山（ムネノヤマ）のアメタモレの段で踊られた。

## 【奉納・披露】

日程：8月14日 15時～、他不定期

場所：西願寺境内（里町里）、他文化行事開催場所